

[桃ノ木川]

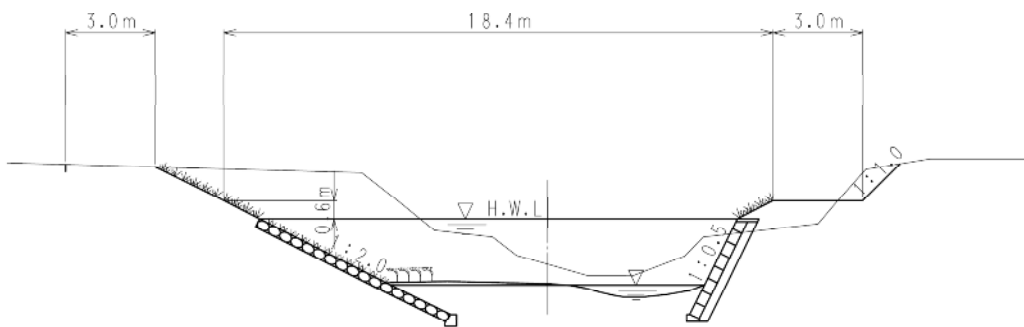
桃ノ木川は、前橋市田口町から市内中心部を流下し広瀬川に合流する一級河川である。

改修は昭和30年代から進められており、未改修部分は法華沢川合流点までの約1,000mであるが、この区間には国道17号などの基盤施設があり、また現在区画整理事業などの開発も行われていることから、沿川地域の治水安全度を向上させることが急務となっている。

このため、河道拡幅を実施することにより、概ね100年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

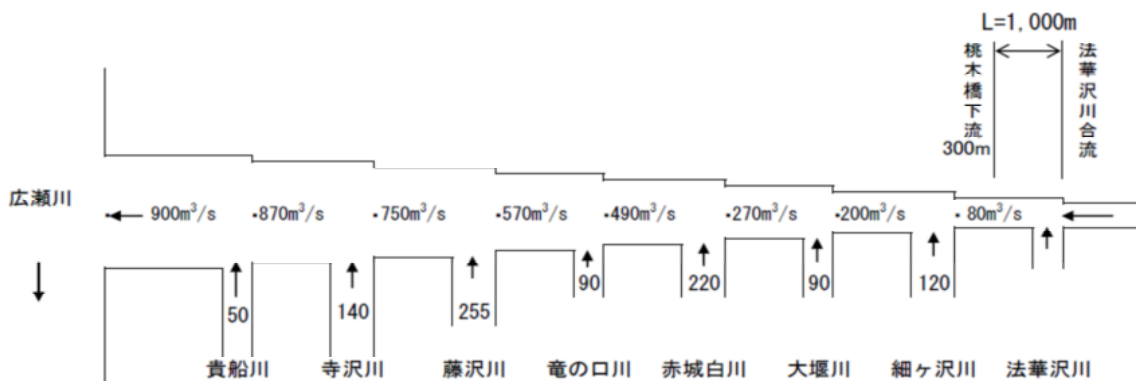
改修断面は親水性、植物の生育に配慮し、1:2.0勾配および1:0.5勾配の護岸の組み合わせとし、自然石や河岸の緑化を目指したブロック工を用いて整備を行う。

施工区間	桃木橋（国道17号）下流300m～法華沢川合流点
延長	L = 1,000m
整備内容	護岸工、掘削工



桃木橋上流

代表横断面図



計画流量配分図



S=1:25,000

